

総選挙で正論勝利を

高市政権、トランプの無法、市民泣かせの小池市政 住民不在の独善政治に審判を

問われるのは違憲と公約違反

高市総理が突然の解散総選挙を発表しました。参議院選挙から半年、消費税減税、物価高騰対策」など公約違反が続いています。碧南市政も、学校給食完全無償化は3学期小学生のみ国費100%にすり替え「子どもたちの未来」市民の暮らしを力強く推進してまいります！

市民の声を、願いを、市政に届け、女性目線で笑顔あふれる碧南市へ！」
「マイル通信から」があきれる 財政非常事態宣言」による市民負担強化と施策削減が進められています。政治家の公約違反は許されません。

台湾有事では武力行使もと平和憲法の本の総理としてあるまじき発言を撤回せず、アメリカトランプ大統領のベネズエラ武力行使に批判もしません。憲法改定を公然と国会発言など憲法違反と国会定数削減で民意を切り捨てる民主主義圧殺、スパイ防止法で国民監視など戦争への道へ突き進む政治に対し、日本共産党の躍進で審判を下しましょう。

削減第3弾発表。道路整備、みどりの学校」親負担も

9月24日に発表した 財政非常事態宣言」で小池市長は市民負担を強行。11月5日、12月1日と内容を示してきました。
12月議会では、図書館中部分館の廃止、使用料手数料引上げの2議案を全議員反対で否決されました。しかし何の反省もなく1月9日、第3弾の削減内容を議会に示してきました。

農業、業業、商業などのあらゆる団体へのイベント補助削減。高齢者住宅改修補助や市営住宅給湯器改修の見直し、駅駐輪場のシルバー管理の時間短縮などもはや削減のための削減」となっている「ヤデ斬り」状態です。

みどりの学校は環境対策!!

みどりの学校は臨海部の工場団地化、石炭火力発電所の設置によって子どもたちに喘息などの影響が予測され、自然と触れ合う中で心身共に回復させるために全額市費で行なわれてきました。小池市長は、第3弾でこれに保護者負担を導入するとしています。わずか900万円の市費削減で子どもたちの未来と安心」の公約にそわいていくのでしょうか。

臨時 図書館協議会」開催

12月議会での議案否決を経て、図書館協議会の臨時会が1月21日（水曜日）午前10時から碧南市民図書館2階会議室で行なわれます。議題は
1. 碧南市図書館サービス計画の進捗状況について
2. 碧南市民図書館の今後について
仕切り直して、再び廃止に向けないためにぜひ傍聴にいきましょう。

許せますか？削減内容（第3弾）

	削減項目	削減額（円）	実施時期
1	防犯カメラ設置補助削減	900,000	R8.4月～
2	下水道会計繰入ゼロに	283,000,000	〃
3	明石公園遊具更新凍結	7,000,000	〃
4	小中学校みどりの学校負担増	9,000,000	R9～
5	美術品購入削減	1,000,000	R8.4月～
6	スポーツ振興基金積立凍結	25,000,000	〃
7	住宅改善費非課税世帯上限見直し	15,000,000	〃
8	生活道路整備、一部先送り	85,000,000	〃
9	市営住宅長寿命化、向山・三度山給湯器	26,000,000	〃
10	JA農業まつり補助	60,000	〃
11	漁業祭り	60,000	〃
12	償却資産新規取得補助廃止	12,000,000	〃
13	観光協会補助削減	3,000,000	〃
14	へきなん食フェア補助削減	1,000,000	〃
15	駅駐輪場管理削減。碧南、中央駅	900,000	〃
	合計	468,920,000	

文化も平和もくらしも削減。大企業やアメリカにへっつらう
自民党政治はノーの審判を
日本共産党に

国も碧南市も、大企業に物言えず優遇税制。トランプ関税もベネズエラ侵略も国際法や国連憲章違反なのに批判もできず。物価高騰と、時間とお金の搾取に苦しむ住民に負担強化を押し付ける政治は変えましょう。日本共産党への支持を広げることが確かな力になります。

成人の日

願いかなう社会 共につくろう

614人が「祝う会」に参加

1月11日碧南市文化会館で「20歳を祝う会」が開かれ、844人の対象者のうち614人が参加しました。全国では、18歳を迎えた109万人が新成人となりました。

「一緒に希望ある社会を」

夢を追いかけて、自分らしく生きたいと希望を持っていくでしょう。同時に、大学生活はバイトづけ。奨学金の返済で不安がいっぱい。賃金が安く暮らしが豊かにならない。「いつか戦争にまきこまれるのでは」と不安もあるのではないのでしょうか。日本共産党は、有権者になられた皆さんと一緒に学び、考え、行動し、希望ある社会をつくっていきたくと考えます。

若者負担軽減に背り高市政権 小池市政

学費値上げはやめてほしい。――高市早苗・自維政権では学費値上げの波は収まらず、国立大学では標準額を見直し大幅値上げにつながりかねない議論をはじめています。物価高を何とかしてほしいとの願いには、まともな賃上げ策もなく、消費税減税の要求にも一切応えません。碧南市小池市政も「財政非常事態宣言」を押し付け、私学高校生への授業料補助「廃止。公約の奨学金補助制度も3年度と中身も実施時期も後景に追いやっています」。

大企業の儲け優先やめよう

高市首相が継承するアベノミクス以降、賃金は上がらないのに、大企業の純利益は3.5倍、株主への配当は2.8



「20歳を祝うつどい」20歳のみなさん和田太鼓と合わせて「あっぱれ」の字を書き上げました。1/11 文化会館

碧南市の18～20歳人数

2025年	20歳人数	797人
11月末	19歳人数	778人
現在	18歳人数	740人

20歳祝う会

招待	844人
参加者	614人
参加率	72.70%

倍になっていきます。自民党は大企業からの献金をうけ、もうけ最優先の政治をすすめています。

いいのか排外主義 戦争への道

高市政権は、排外主義をあり、戦争ができる国づくりをひた走ります。軍事費は4年前の5兆円台から9兆円超に急騰しました。トランプ政権のベネズエラへの軍事攻撃は明白な国際法違反にもかかわらず、高市首相は批判せず、口をつぐんでいます。

アメリカ、大企業優先から脱却を

アメリカ、大企業優先の政治を、国民が主人公、国民の暮らし優先に切り替えれば、希望のある社会は実現できます。学費値上げは1千億円あればストップでき、さらに大軍拡の予算の一部を回すだけで学費を下げられます。新成人の皆さん、一緒に声をあげていきましょう。

世界に広がる「資本論」は希望の書

貧富の格差と気候危機は目を覆うばかり。資本主義のままでいいのか」という問いが、世界でも日本でもおこっています。資本主義の名付け親であるカール・マルクスの『資本論』に注目が集まっています。

自由な時間」を取戻す

マルクスは『資本論』で、資本家が労働者を搾取するしくみと、その強欲ぶりを告発しました。資本は、労働者からお金だけでなく、自由な時間」も奪います。社会による規制がなければ、もうけのために労働者の命や健康、自然環境破壊することためらわれないのが資本の本性です。

団結と闘ってこそ搾取からの解放が

マルクスは、この資本主義の強欲を打ち破る力は、搾取

されている労働者階級の団結であり、闘いこそが社会を変えるとの熱いメッセージを『資本論』で語っています。労働時間を抜本的に短縮し、奪われている「自由な時間」を取り戻し、すべての人びとの可能性が開花する社会をめざそうというのが、マルクスの構想した共産主義社会です。『資本論』を学べば、いまの生活の苦しさは自分の努力が足りないせいではないと分かり、社会は変えられるという希望をつかむことができます。共に希望ある、自由で平和な社会へとエールを送ります。

日本共産党碧南市議団



市議会議員

山口はるみ

☎42-8940

三度山町 2-70-4



市議会議員

磯貝明彦

☎48-2718

若松町 3-253

大軍拡・大増税許すな
へきなん 19 行動
1月19日(月)
午前11時～12時 ピアゴ碧南東店
碧南市東浦町6-17

申込は
ここから



電車でも！海外でも！どこでも読める

しんぶん 赤旗 日曜版 電子版 990円/月

申し込みスタートしたよ！

日本共産党